



第４次イノシシ管理計画（案）の概要（やさしい版）

１　「第４次イノシシ管理計画」の目的は？

○ この計画は、岩手県で生息しているイノシシの数を適切に管理し、人とイノシシが安心してくらせるようにするための計画です。

○ 近年、イノシシの数が増え、住む場所も県内の広い地域に広がっています。そのため、畑や田んぼの作物が食べられたり、土が掘り返されたりする被害が多くなっています。また、人が住む場所の近くで見られることも増えています。

○ イノシシを増やさないようにしながら、自然の中で生きていけるよう管理し、人のくらしと豊かな自然の両方を守ることが、この計画の目的です。期間は、令和9年度から令和１３年度の5年間です。

２　いまの状況と課題は？

○ 岩手県では、イノシシが県内の広い地域で見られるようになり、その数も増えています。イノシシは畑や田んぼに入り、お米や野菜、いもなどを食べたり、地面を掘り返したりするため、農業に大きな被害をあたえています。

○ また、人が住む場所の近くに現れることも増えており、地域の人たちが不安を感じることがあります。

○ これまで捕獲や防護柵の設置などの取組を進めてきましたが、まだ被害は続いています。そのため、イノシシの数を適切に管理しながら、農作物や人のくらしを守ることが大きな課題となっています。

3　計画で取り組むことは？



○ イノシシの数を減らすため、積極的に捕獲を進めます。特にイノシシが多くいる地域では、重点的に捕獲を行い、被害を少なくしていきます。また、イノシシの数や生息場所を調べ、効果のある方法で対策を進めます。

○ 畑や田んぼを守るため、イノシシが入れないように防護柵を設置し、作物への被害を防ぎます。設置した柵をしっかり点検し、長く使えるようにすることも大切です。

○ 人とイノシシの生活する場所を分けることも重要です。畑や草地を手入れしたり、やぶを刈ったりして、イノシシが近づきにくい環境をつくります。

○ イノシシの生息状況や被害の様子を調べ続けるとともに、捕獲や対策を進める人を増やすため、技術を学ぶ機会を充実させます。

○ 県や市町村、地域の人たちが協力し、農作物や自然を守り、人とイノシシが共にくらせる地域をめざします。

意見の感想の提出について

提出方法	● 郵送(手紙やハガキ)の場合 あて先に「〒020-8570 岩手県環境生活部自然保護課」と書いて送ってください。住所は書かなくても大丈夫です。 ● ファックス(FAX)の場合 「019-629-5379」の番号にファックスを送ってください。 ● 電子メールの場合 「FA0031@pref.iwate.jp」までメールを送ってください。
意見や感想の書き方	・意見や感想の書き方は自由です(決まりはありません)。 ・ファックスや電子メールを使って意見や感想を提出する場合は、県のホームページにある回答用紙【やさしい版】を使うと便利です。 https://www.pref.iwate.jp/public_comment/1097882/1102528